

会議等名	平成24年度 第1回 海老名市総合計画審議会
日時	平成24年6月22日(金) 10:00~11:30
場所	海老名市役所 3F 政策審議室
出席者	委員：鈴木委員、市川委員、西田委員、戸澤委員、佐々木委員、濱田委員、森川委員、今井委員、内野委員、木村委員、今別府委員、菅谷委員、三部委員、杉山委員、(欠席 森田委員) 事務局：財務部長 清水 昭、財務部次長 秦 恭一 財務部参事兼企画財政課長 橋本 祐司、 企画財政課政策経営係長 告原 幸治、 企画財政課政策経営係主事 久保寺 規雄、 企画財政課政策経営係主事 西尾 夕香 傍聴者：なし
概要：	<p>1 開会（事務局）</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 第四次総合計画後期基本計画（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 序論・基本構想部分について、冊子に基づき、事務局から説明。 <p>《質疑・意見等》</p> <p>(委員) 震災以降エネルギー問題が大きく取り上げられている。今現在、市としてのエネルギー施策は持っているのか。また、公共施設の電力量などは把握できているのか。</p> <p>→ エネルギー施策については、国策での対応となるが、太陽光発電施設の普及や、様々な啓発活動、国への要望など、市としてできることを行っている状況である。また、公共施設については、太陽光を中心とした自然エネルギー設備を大規模改修等に併せて、設置していくということ、計画に盛り込んでいる。電力使用量も当然把握している。</p> <p>(委員) 計画停電が起きても対処できるのか。</p> <p>→ 東京電力管内においては、原発が稼動していない状態でも、計画停電には至らないとのことだが、市でもなるべく電力余裕のある状態を作り出せるよう節電に取り組んでいく。</p> <p>(委員) 開発が進むようだが、緑地比率は保っていけるのか。</p> <p>→ 開発は、どの地域でも行うわけではなく、開発すべきところ、保全すべきところを定めている。今は、特定保留区域となっている、海老名駅西口地区、運動公園周辺地区、本郷・門沢橋周辺地区について、開発を行う予定である。その他の地域については、これまでどおり、自然環境を保全した中でまちづくりを進めていく。</p> <p>(委員) 緑を保全するため、横浜市ではみどり税を導入し、税収を確保しているが、海老名市では考えがあるか。</p> <p>→ 後期5年間において、緑の保全のため、新たな財源を急遽捻出しなければならないような状況ではないため、自然を保全するための目的税の導入までは、考えていない状況である。</p>

- ・基本計画部分について、冊子に基づき、事務局から説明。

《質疑・意見等》

(委員) 集中戦略プロジェクトについて、事業の説明書きがあるとよりわかりやすい。また、政策別計画のどの事業に位置づけられているのか、その事業の項目の部分にも集中戦略プロジェクトの記載があれば分かりやすいと思うがいかがか。

→ 集中戦略プロジェクトの記載については、ご指摘を踏まえながら肉付けをしていきたい。また、政策別計画のページからも、プロジェクトに位置づけた事業がわかるように工夫して掲載していきたい。

(委員) 集中戦略プロジェクトの主な取り組みについて、政策別計画の順番になっていないようだが、これには、重点的に行う順番などという意図があるのか。

→ 内部で議論した中での順番となっている。ご意見も踏まえて、並び順について、検討させてほしい。

(委員) 高齢化が進む中で、交通不便地域におけるコミバスの運行は重要である。今後ルートを検証行っていくことだろうが、運行・検証に留まることなく、改善・改良という表現も入れてはどうか。また、社会福祉協議会が交通弱者対策として行っているぬくもり号のルート拡大なども総合交通対策として計画に盛り込んではいかがか。

→ コミバスの関係は表現がないから改善・改良を行わないというわけではないが、改善・改良という表現を入れるかどうかは内部で検討させていただきたい。ぬくもり号については、市の事業ではないことから、項目として特出ししていないが、社会福祉協議会の充実という項目の中で支援させていただいている。

(委員) 高齢者の居場所づくりとして、社会福祉協議会が地域自治会と協力して柏ヶ谷とさつき団地に高齢者の拠点を2箇所オープンしたが、市としても、社会福祉協議会の充実という項目だけでなく、表現として掲載してはどうか。

→ 社会福祉協議会の具体的事業を、項目の中に、表現として記載することについては、内部で検討させてほしい。

(委員) 集中戦略プロジェクトに飲料水兼用貯水槽の整備とあるが、小中学校避難所で貯水槽の整備をするところはどこか。また今、未整備なところがあり、今後順次行っていくということか。

→ 柏ヶ谷、東柏ヶ谷、有鹿小について、充足できていないことから、後期の期間中、整備していくということである。

(委員) 空き地・空き家条例の制定について、詳細は決まっているのか。

→ まだ、詳細は決まっていない。先行して制定している市の条例を検証している段階である。先行市の条例では、適正な管理を促すものと、代執行を伴い実効性を持つものがある。海老名市ではどういった条例がいいのか後期計画の期間中、検討していきたい。

(委員) 商店街の元気復活とあるが、今、空き店舗を活用した取り組みについて、行政と商店が話し合いを行っている。そこに地域住民が加わるような展開になっていくのか伺う。

→ 基本的には、商店街は商店街で協議会等を設置して、活性化策を検討し、そこに行政が人的なり、金銭的なり支援を行っている状況である。しかし、商店街だけで策を講じて、周辺住民の方がその波に乗っていけるようなものでなければ充実したものにはならない。そのためにも、周辺住民の意向確認等は必要なものと考えている。また、商店街と市の方で定期的な話し合いが行われているが、現状をベースとした活性化策が中

心である。商店街は年数を経て、老朽化の問題なども抱えているため、ハード面の整備も含め、元気復活には、地域との話し合いが必須であると考えている。

(委員) 災害弱者対策についての記載はどの項目になるのか。

→ 高齢者に特化した記述にはなっていないが、第4章に危機管理や災害対策の強化といった項目がある。そこに地域防災計画が記載されており、その個別計画の中で、災害弱者への対応が位置づけられている。

(委員) 災害弱者の方とそれを支える人達の情報を地域でどう共有化していくかという部分が課題であるため、具体的に進めていただけるよう事業を記載していただきたい。

(委員) 集中戦略プロジェクトに掲げられている企業立地の促進については、政策別計画では、工業の項目に位置づけられているが、商業もあるのではないか。

→ 集中戦略プロジェクトと政策別計画のつながりについては、見やすくなるよう検討したい。また、企業立地の促進は工業振興施策であり、集中戦略プロジェクトのにぎわい創出プロジェクトにおける一事業として抜き出し、掲げさせていただいている。

(委員) 介護ボランティアポイント制度について、他都市での取り組みはあるのか。

→ ボランティア制度そのものに、ポイントを付けたり、地域マネーなどを使った事業を展開している自治体はいくつかある。ボランティアした時に貯まったポイントを自らの介護サービス利用時に使えたり、あるいは商品券のように使えたり、内容については、様々なものがあるようである。

(委員) 文化財の活用についての記載があるが、子ども達の郷土愛を育む上で非常に効果的なことだと考える。市役所1階などにある郷土史など、一般の方がもっと目に触れられるよう紹介していただけるとよいと考える。

→ すぐにでもできることなので、担当に伝えたい。

(2) その他について

- ・ 今後のスケジュールについて、事務局から説明。

「後期基本計画」(案)は、現在、市長タウンミーティングにおいて、各会場でも説明している。この後、パブリックコメントを経て、8月頃に再び、総合計画審議会を開催し、委員の意見を伺い、8月中に後期基本計画の決定をしていきたいと考えている。

3 閉 会

以 上